

特集
02

おうきゅうきゅうすいきよてん

応急給水拠点のご紹介

皆さんは、応急給水拠点という名前を耳にしたことがありますか。上下水道局では、災害時に備えて応急給水拠点の整備を進めています。令和元年度に実施した市民意識調査では、約半数の人が「応急給水拠点が設置されていることは知らない」と回答しました。また、応急給水拠点の存在を知っている人でも、そのうちの約58%の人は「自宅最寄りの場所はわからない」と回答しています。この機会に、応急給水拠点について確認してみませんか。

応急給水
拠点って
なに？

地震などの災害で断水が起きたときに、 市民の皆さまに水をお配りする場所のことです。

応急給水拠点は、令和2年4月1日現在、市内全域に209箇所整備されています。現在は、より迅速かつ利便性の高い給水を行うため、開設不要型応急給水拠点の整備を進めています。

※開設不要型応急給水拠点の説明はページ下部をご覧ください。



応急給水拠点開設の様子

水を
もらうとき
何か必要なの？

水を入れるための容器が必要です。

災害時に応急給水拠点で給水を受けるときは、水を入れるための容器（ふたができて清潔なもの。ポリタンク、ペットボトル、水筒など）を持参してください。水は想像以上に重いので、リュックサックや車輪付きのバッグなどがあれば持ち運びに便利です。



ポリタンク

家から
一番近い
拠点はどこ？

上下水道局ウェブサイトでご確認ください。

上下水道局ウェブサイトでは、市内にあるすべての応急給水拠点の地図を公開しています。いざというときに備え、ご自宅や通勤・通学場所に一番近い応急給水拠点の場所を確認しておきましょう。上下水道局ウェブサイトのほか、ガイドマップかわさきからも確認することができます。

上下水道局
ウェブサイト



川崎市上下水道局 応急給水拠点

ガイドマップ
かわさき



ガイドマップかわさき 応急給水拠点



(例)川崎区にある拠点の地図

コラム

災害時の応急給水 について

上下水道局では、地震などの災害でご家庭の水道が使用できなくなったときに備え、利便性の高い開設不要型応急給水拠点の整備を進めています。また、被災状況に応じて臨時給水所を開設します。

1 開設不要型応急給水拠点

応急給水拠点で給水を行う場合、通常は格納庫等に収納されている給水器具などを組み立てる必要がありますが、災害時に避難所となる小中学校などで蛇口をひねるだけで応急給水が受けられます。



開設不要型応急給水拠点
(既設給水栓利用型)

小中学校の水飲み場等を
災害時は応急給水拠点
として活用します。

2 臨時給水所

消火栓や臨時給水用井戸等を活用し、臨時に応急給水を行うことができる場所です。この臨時給水所は被災状況に応じて開設し、応急給水拠点を補完します。



臨時給水所として使用する
消火栓の鉄蓋

市内全域を網羅している
配水管に、約100メートル
ごとに設置されています。